

平成30年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** ・ 県単

事業名	林道事業 [森林基幹道開設事業 (国補)]		事業箇所	上野原市秋山尾崎 ~ 南都留郡道志村竹之本	地区名	富士東部 (南) 線	事業主体	山梨県					
計画期間	当初計画	現計画	(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化]										
	S58~H19	S58~H32	変更計画	S58~H35 (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)									
総事業費	2,135 百万円	4,600 百万円	5,000 百万円	①地域・住民の意向状況									
(1) 事業の概要				<p>①地域・住民の意向状況 ・上野原市秋山と道志村は隣接しているものの、他地区を大きく迂回しての往来を余儀なくされている上、当地区の広大な森林の効率的な施策推進のため、林道整備が必要である。本事業は地元住民の悲願であり、市・村議会からも早期に完成するよう強い要望がある。(上野原市長の意見)</p> <p>②産業・経済情勢 CLTの活用など、これまで国産材があまり使われてこなかった分野について、新たな木材需要の創出が期待されている。</p> <p>③国等の方針 国は平成28年5月に「森林・林業基本法」の見直しを行い、平成37年までに国産材自給率の目標を50%とし、森林施策の集約化、新たな林内路網の考え方に基づく路網の加速的整備により、効率的・安定的な森林経営の基盤づくりを進めることとしている。</p> <p>④上位計画・関連事業計画等 ・やまなし森林・林業振興ビジョン (平成27~36年度) ・山梨東部地域森林計画 (平成26~35年度) ・第3次県有林管理計画 (平成28~37年度) ・山梨県林内路網整備計画 (平成27~36年度) ・社会資本整備重点計画 (平成27~31年度)</p> <p>⑤自然環境条件等 なし。</p> <p>⑥その他 なし。</p>									
①事業目的及び効果													
本路線は、上野原市秋山尾崎と道志村竹之本を結ぶ森林基幹道であり、秋山川及び道志川流域の広大な森林の管理経営の効率化を目的に開設している。利用区域1,285haのうちスギ、ヒノキ等の人工林が約61%を占め、これら森林の適正な管理、木材生産に加え、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるための基盤となる基幹的な林道である。 また、県道四日市場上野原線と国道413号を連絡することにより、広域的な交通の利便性向上や、山村地域の振興、活性化にも寄与する。													
<input type="checkbox"/> 主要目標 ○森林整備の効率化 <input type="checkbox"/> 副次目標 ○なし <input type="checkbox"/> 副次効果 ○アクセス機能の維持 ○防火帯・延焼遮断帯の確保 ○リサイクルの推進													
②事業概要 (現計画から変更なし)													
森林基幹道開設 延長 L=15,500m 幅員 W=5.0m													
③全体計画													
現計画	工事内容	林道開設 L=14,510m	林道開設 L=320m						林道開設 L=670m				
	事業費	4,320 百万円	90 百万円						190 百万円				
変更計画	工事内容	林道開設 L=13,826m	林道開設 L=180m						林道開設 L=1,494m				
	事業費	4,400 百万円	76 百万円	524 百万円									
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。													
④特記事項 (関連事業概要等)													
・大月市、旧上野原町、旧秋山村、道志村で設立した「林道富士東部線開設促進同盟会」の要望により、昭和58年度に事業の採択を受け全体計画を樹立し、同年度に県代行工事として着手した。													
⑤これまでの評価状況 (平成25年度再評価)													
森林整備や林業経営が効率的に実施されているなど一定の効果が認められる。また生活関連林道として、災害時における集落孤立化の回避、緊急輸送路としての地元の期待も大きい。更なるコスト縮減と時間管理を徹底し、計画年度までの完成に努められたい。													
(3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]													
経済効率性	項目	着手時点	再評価時点	変更計画時点									
	総事業費	2,135百万円	4,600 百万円	5,000 百万円									
	工期	S58~H19	S58~H32	S58~H35									
	費用	評価基準年	S58	H25	H30								
		建設費	- 百万円	7,056 百万円	9,951 百万円								
		維持管理費	- 百万円	143 百万円	354 百万円								
	便益	- 百万円	7,552 百万円	10,573 百万円									
	その他*	木材生産	- 百万円	158 百万円	173 百万円								
		森林整備	- 百万円	2,087 百万円	4,631 百万円								
		災害軽減	- 百万円	1,204 百万円	1,627 百万円								
その他*		- 百万円	4,103 百万円	4,142 百万円									
B/C	未算出	1.07	1.06										
費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。 ※その他は、森林の総合利用便益、一般交通便益ほか													

2.評価シート

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]	⑥変更計画の変更内容 (事業費)
①これまでの計画変更等の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所の地形が急峻で、また地質も脆弱なため、路側構造物及び法面保護工等にかかる事業費がかさんだことと、権利関係が複雑なため用地交渉が難航し進捗が遅延したため、平成13年度に事業費の増及び平成15年度に計画期間の延長を行った。(平成15年度再評価) (工事内容) 林道開設1,100mの増 (事業費) 2,815百万円の増 (計画期間) 8年延長 ・森林整備・林業経営の活用を図るため、トンネルの計画を見直し、事業費を減じるとともに、計画期間を平成32年度までに変更した。(平成25年度再評価) (事業費) 350百万円の減 (計画期間) 5年延長 	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助事業の緊縮や資材価格、労務費等の上昇により計画どおりの進捗とならなかったことから、事業費を400百万円、事業期間を平成35年度まで変更したい。(平成30年度) (計画期間) 3年延長 (事業費) 400百万円の増
②進捗率 別表のとおり。	(5) 評価項目 [環境負荷等への配慮] 地形の変更を極力少なくする路線計画とし、切土・盛土法面については、緑化による保全が見込める箇所は在来種を配合した法面保護工による緑化を採用するなど、良好な自然環境の維持及び環境に配慮した計画である。
③事業進捗が順調でない理由 急峻な地形や脆弱な地質による費用の増加、また国庫補助事業の緊縮や近年の資材価格及び労務費の上昇により、年間の開設延長が延びず、全体工程に遅れが生じた。	(6) 評価項目 [コスト削減の可能性] 地形に沿った平面・縦断線形をとり、切盛土量の収支均衡、及び法面、路側構造物等を縮小する。また、急峻な地形においては路肩の縮減を行う。
④今後の事業執行上の問題点 急峻な地形、脆弱な地質といった厳しい作業環境下での事業となることから、施工時の安全管理により留意する必要がある。	(7) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし
⑤変更計画の進捗予定 (期間) 線形や路側構造物、法面保護工の一部見直し及び労務費等の上昇による開設コスト増等の影響を受け計画工程に遅れが生じているが、平成32年度からは2工区施工が再開できる見込みで、今後は進捗の回復が図れる。このため、工期を3年延長し、平成35年度の完成を目指す。	(8) 所管部の今後の方針 継続・ 見直し継続 ・その他() (理由) 本路線は、森林の適正管理、持続的な森林の多面的機能の高度発揮等の目的を持つ当地区唯一の期間路線であることから、事業期間の3年延長及び総事業費を変更し継続した上で、平成35年度の完成を目指す。

○別表-進捗率 (事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

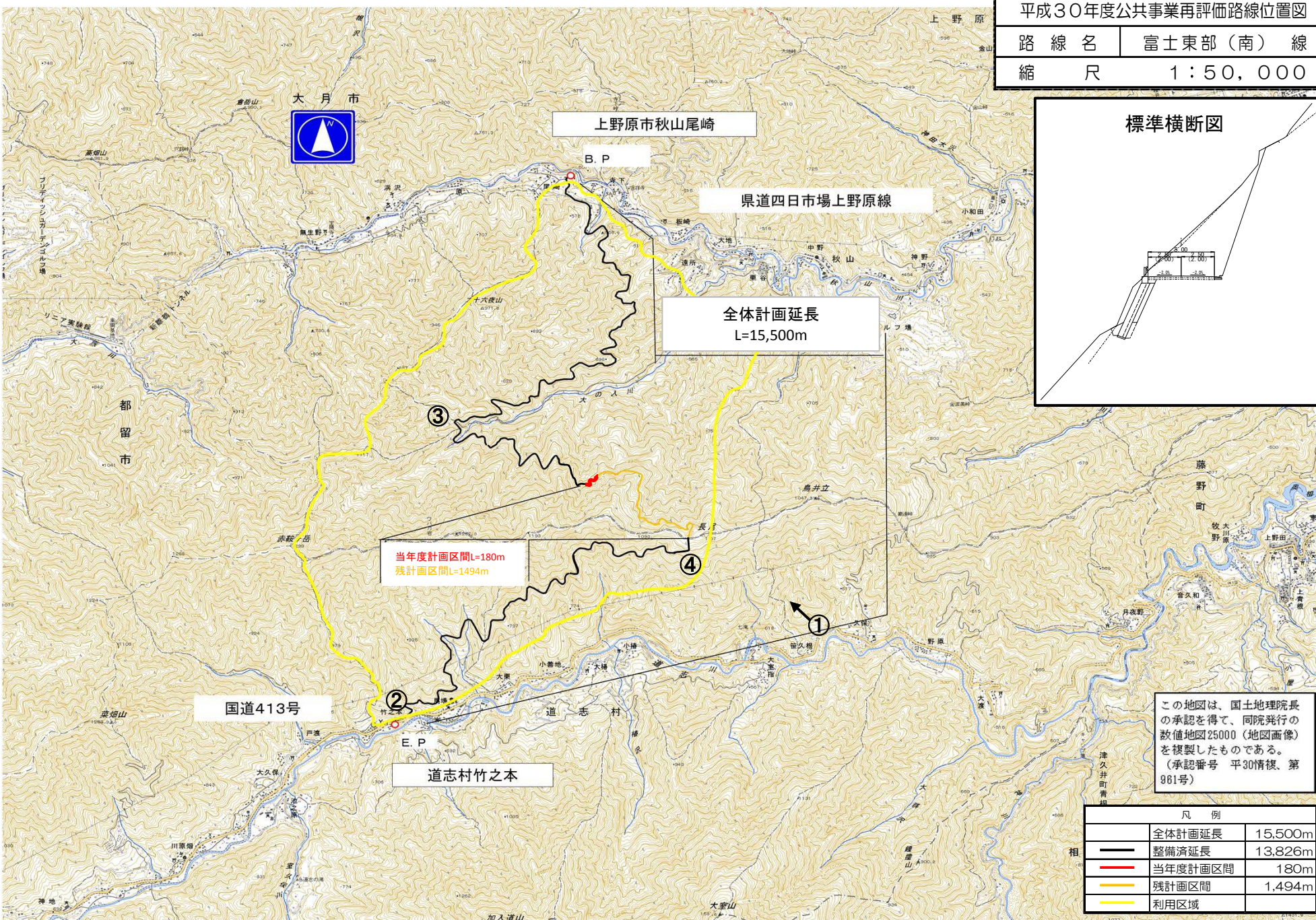
	年度	~H18	H19	*H20	H21	H22	H23	H24	*H25	H26	H27	H28	H29	*H30	H31	H32	H33	H34	H35
現	計画	61	64	68	71	75	78	82	85	88	89	90	92	94	97	100	-	-	-
	実績	61	64	68	71	75	78	82	85	88	91	94	96	97	-	-	-	-	-
変更計画														90	91	93	96	98	100

*事業着手年度又は評価年度

*H30の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)

平成30年度公共事業再評価路線位置図	
路線名	富士東部(南)線
縮尺	1:50,000



上野原市秋山尾崎

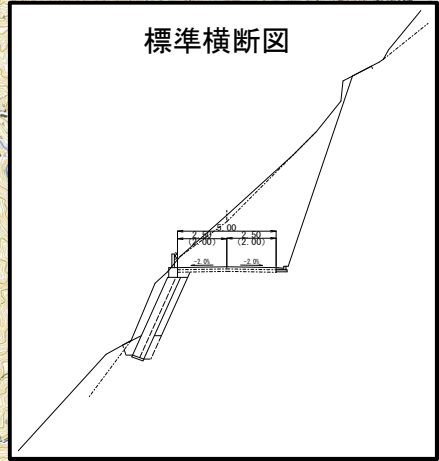
県道四日市場上野原線

全体計画延長
L=15,500m

当年度計画区間L=180m
残計画区間L=1494m

国道413号

道志村竹之本



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。
(承認番号 平30情模、第981号)

凡例		
—	全体計画延長	15,500m
—	整備済延長	13,826m
—	当年度計画区間	180m
—	残計画区間	1,494m
—	利用区域	

3.添付資料シート(2)



① 計画地遠景



② 開設促進PR看板



③ 林道沿線における森林整備の状況



④ 林道沿線における収獲木材の搬出状況

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
~H18	2,795,000	開設延長 L= 10,002m	56
H19	160,000	開設延長 L= 476m	59
H20	160,000	開設延長 L= 398m	62
H21	160,000	開設延長 L= 384m	65
H22	160,000	開設延長 L= 412m	69
H23	160,000	開設延長 L= 340m	72
H24	160,000	開設延長 L= 459m	75
H25	160,000	開設延長 L= 393m	78
H26	140,000	開設延長 L= 306m	81
H27	140,000	開設延長 L= 254m	84
H28	129,410	開設延長 L= 251m	86
H29	75,900	開設延長 L= 151m	88
H30	76,000	開設延長 L= 180m	90
H31	76,000	開設延長 L= 180m	91
H32	120,000	開設延長 L= 370m	93
H33	122,000	開設延長 L= 370m	96
H34	122,000	開設延長 L= 370m	98
H35	84,000	開設延長 L= 204m	100
合計	5,000,310	開設延長合計 L= 15,500m	